（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和７年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	いわゆる「DIY」を起点とした聖高原別荘地の振興事業と 別荘暮らし体験住宅の再整備
事業主体 （連絡先）	麻績村 麻績村役場　観光課　0263-67-2133
事業区分	その他地域の元気を生み出す地域づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,599,843　円（うち支援金：1,929,000 円）

事 業 内 容

本事業は DIY を起点とした空き別荘の利活用である。参加型ワークショップは聖高原別荘地において初の試みであり、イベント後には別荘物件自体を公に内覧できる機会と場所も作り出した。一般に対して広く別荘を公開したことや、改修の例を示し、現利用者の世代交代及び売買による利用の循環を生むという目的の一助ともなった。改修後の建物は主に DIY イベントを通して改修したということが１つの魅力として、「移住」「別荘」「DIY」と多数の需要に応えられることが魅力の複合施設へと変化していく。

【DIY イベント時記念撮影】

事 業 効 果

【目標・ねらい】

① 聖高原別荘の PR
② 空き別荘の利活用
③ 移住・定住促進
④ 仲間づくり・コミュニティ形成

① 聖高原別荘の PR
発信機会増加や拠点の新規整備で十分な効果を確認
② 空き別荘の利活用
物件の改修も進み意味のある一軒が整備された
③ 移住・定住促進
イベント参加者の中から麻績への新規移住者１組
④ 仲間づくり・コミュニティ形成
DIY イベント参加による関係人口創出：計６人
（目標値：計 10-20 人）

※自己評価【B】

【理由】
DIY イベント開催と物件の利活用計画が概ね予定通り進行したため。しかし、数値での具体的な効果を十分確認できなかった。

今後の取り組み

今後は令和８年度以降の目標としている貸別荘（別荘暮らし体験住宅）オープンに向けて”選べる移住体験施設整備事業”として進行していく。事業期間中に実施した「本施設に求める宿泊以外の具体的な複合機能」についてのアンケートは、結果を踏まえ、多くの方が利用できる仕組みを検討。また、今回の事業の主軸であった DIY を中心としたワークショップは、オープンに向けた準備期間の中でも継続していき、来年度には「ダイニングテーブルを作ろう」と称したイベントも実施予定。

単年では具体的な数値として十分な事業効果が確認できなかった、中古別荘の売買件数や移住定住の促進への影響、その他派生的な結果については引き続き観測していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある